

園芸市場情報

令和5年1月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

1月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年やや下回り、相場は前年をやや下回るか！

果実類は、入荷量は前年をかなり上回り、相場はかなり下回るか！

花き は、入荷量は前年並、相場は前年をやや下回るか！

<今月の写真>

令和5年 初市

1月4日(水)、大田市場花き棟において、年明け最初の花き(切花)のセリが行われました。初市に先立ち、卸売場には初荷札のかかった2艘の宝船(恵比寿丸・大黒丸)が飾られ、セリ前には、中央通路にて卸売業者、仲卸業者等関係者が揃い、三本締めが行われました。セリは7時より開始され、宝船から順にスタートしました。



CONTENTS (目次)

I 青果情報	1 頁
12月(中旬まで)の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
1月の見通し	
今月の青果物 特集「レタス類」	
II 花き(切花)情報	6 頁
12月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)	
1月の見通し(ストック、カラー)	
11月の入荷量と単価の経過 <<確定値>>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7 頁
11月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8 頁
「切花出荷箱の標準化」	
V 首都圏掲示板	9 頁
「北海道産のさつまいもの出荷がありました。」	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 11月下旬～12月中旬までの経過

気 象 | 11月下旬の気温は、平年比2℃以上の高温となった。12月に入ってから、東海、甲信、関東地方で高く、その他の地域で低かった。降水量は、12月に入り低気圧の通過、周期的な冬型の気圧配置となり、北陸、東北地方で平年より多かった。特に石川県、新潟県佐渡、下越地方、福島県会津地方は降雪の影響で平年の2倍以上となった。

日照時間は、中国、近畿、北陸地方及び北海道の一部を除き、平年より短くなった。

野菜類

入荷量 | 11月下旬から12月中旬の入荷量は、生育が前進した「ほうれんそう」が前年に比べ大幅に、「だいこん」「レタス類」がかなり多くなった。また、前年不作だった「ばれいしょ」が大幅に多くなった。

野菜全体では、11月下旬から12月中旬の入荷量は124,070t（前年比104.4%）と前年をやや上回った。

相 場 | 重量野菜の「だいこん」「はくさい」「キャベツ類」は前年を大幅に上回ったものの、全体的に安値基調で推移した。

一方、前年が不作で大幅な高値であった「たまねぎ」「ばれいしょ」は前年を大幅に下回る安値となった。

野菜全体では、11月下旬から12月中旬の価格は213円/kg（前年比97.2%）と前年をやや下回った。

果実類

入荷量 | 「みかん類」「りんご類」「かき類」を中心に入荷した。

「みかん類」は12月中旬に「早生みかん」から「普通みかん」中心となり、静岡を除く産地で前年に比べ入荷量は少なかったが、全体では前年並だった。前年着果数が少なかった「りんご類」は、生育順調で前年を大幅に上回った。「いちご類」は生育が回復し、12月には各産地が出揃い、入荷量は前年をかなり上回った。

果実全体では、11月下旬から12月中旬の入荷量は46,659t（前年比107.3%）と前年をかなり上回った。

相 場 | 「みかん類」は前年並、「りんご類」は数量多く、高単価で推移した前年を大幅に下回った。「かき類」も数量多く、前年をかなり下回った。

果実全体では、11月下旬から12月中旬の価格は419円/kg（前年比97.4%）と前年並だった。

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2022年11月下旬～12月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年22日・前年21日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	38,271	97.5	209	100.3	46,109	119.7	200	90.5	39,690	96.6	233	102.0	124,070	104.4	213	97.2
うち外国産	351	53.6	500	148.3	653	77.1	395	132.8	704	79.7	386	123.8	1,708	71.6	413	131.6
果実総量	14,471	106.3	370	95.1	17,004	116.4	402	95.9	15,184	99.6	485	101.5	46,659	107.3	419	97.4
うち外国産	866	73.2	258	144.7	936	75.6	261	145.4	853	66.7	264	153.9	2,655	71.8	261	148.0

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,525	97.8	62	140.9	4,164	126.2	51	111.5	3,245	98.4	59	112.8	10,933	107.2	57	120.5
にんじん	2,583	101.5	109	115.4	2,996	106.4	106	119.8	2,800	101.6	114	117.3	8,380	103.2	109	117.5
はくさい	4,366	83.2	54	158.4	5,972	129.3	39	107.7	4,280	85.1	39	122.8	14,619	98.1	43	127.9
キャベツ類	4,804	95.8	70	125.8	5,501	119.4	56	102.6	4,100	85.1	70	139.6	14,404	99.8	65	120.9
ほうれんそう	623	115.9	336	92.0	639	138.3	346	76.1	506	99.9	430	101.7	1,768	117.4	367	88.9
ねぎ	1,672	98.7	258	114.1	1,982	114.5	269	112.2	1,878	104.0	274	117.3	5,532	105.8	267	114.7
レタス類	2,135	97.3	137	107.5	2,693	131.8	122	87.3	2,116	94.7	179	98.5	6,943	107.3	144	95.9
きゅうり	1,408	92.5	306	103.8	1,441	97.5	346	112.7	1,296	82.5	473	147.7	4,145	90.7	372	121.0
なす	508	96.4	370	89.3	489	107.4	395	85.1	389	83.3	426	95.2	1,385	95.7	394	89.5
トマト	1,472	109.3	412	74.1	1,707	109.2	417	88.2	1,480	99.5	402	94.6	4,659	106.0	410	85.2
ピーマン	631	90.9	426	130.2	677	116.9	403	119.6	508	81.2	475	131.1	1,816	95.6	431	126.2
さといも	281	95.0	259	94.2	374	100.8	270	94.3	595	104.5	311	99.9	1,250	101.1	287	97.3
ばれいしょ類	2,180	114.0	111	54.1	2,588	126.5	120	56.9	2,783	116.7	118	55.8	7,552	119.0	117	55.7
たまねぎ	2,606	97.4	106	59.3	3,330	117.8	108	58.3	3,057	102.8	108	59.1	8,993	106.1	107	58.9
生しいたけ	211	83.3	1,047	115.7	244	96.3	1,000	108.4	213	83.9	1,095	117.7	668	87.8	1,045	113.7
かぼちゃ	619	98.0	218	126.1	774	102.7	260	127.5	948	91.9	282	119.4	2,341	96.9	258	123.0
さやえんどう	36	150.5	978	76.9	51	139.4	907	76.2	49	96.5	1,065	93.1	135	122.3	983	82.8
かんしょ	1,050	94.9	263	98.2	1,479	119.4	262	97.1	1,385	119.3	261	93.3	3,915	111.6	262	96.1
かぶ	463	92.1	117	114.9	540	116.8	112	104.6	451	86.1	116	110.1	1,454	97.7	115	109.7
ごぼう	241	80.7	283	124.2	327	100.3	277	114.3	336	97.8	298	112.9	905	93.4	286	116.7
こまつ菜	381	112.8	186	89.4	388	125.5	189	76.8	333	97.4	265	96.4	1,103	111.4	211	86.8
こねぎ	125	107.7	815	103.9	150	123.4	741	95.1	114	94.7	794	97.7	390	108.7	780	98.5
糸みつば	33	91.4	483	125.1	36	106.3	507	117.1	30	86.2	740	110.2	99	94.5	570	114.8
しゅんぎく	101	96.6	449	100.5	117	121.4	447	87.1	93	95.2	628	109.1	311	104.1	501	98.3
いら	201	94.6	845	109.4	216	109.0	841	99.8	184	94.4	902	97.7	600	99.2	861	102.0
セルリー	213	95.3	209	117.0	253	120.1	185	102.1	217	99.3	188	102.3	683	104.7	194	106.8
カリフラワー	295	282.5	165	66.0	321	334.5	139	49.6	191	114.7	181	74.5	808	219.9	158	62.2
ブロッコリー	1,335	111.9	283	95.8	1,575	141.6	237	71.8	1,221	101.5	292	92.7	4,131	117.7	268	85.6
サラダな	21	110.9	359	93.7	20	103.2	434	106.3	17	91.5	602	116.7	58	101.9	455	104.8
パセリ	15	104.6	1,113	72.5	18	139.6	1,055	72.8	18	129.1	1,203	63.6	52	124.1	1,124	69.0
チンゲンサイ	113	106.6	239	111.5	123	122.5	235	102.0	95	102.3	283	111.3	331	110.6	250	107.8
ミニトマト	574	88.9	702	104.6	785	121.7	607	103.1	715	118.7	518	81.9	2,074	109.5	603	95.5
とうもろこし	3	31.8	347	95.1	6	81.5	350	97.9	6	205.1	337	74.9	15	73.4	344	92.0
なのはな	29	113.5	724	88.9	47	136.9	635	80.7	45	86.4	692	98.2	121	108.0	677	89.8
いんげん	73	150.5	788	81.5	71	125.4	813	80.4	52	72.6	973	114.5	196	110.7	846	90.7
そらまめ	2	-	888	-	14	1634.2	849	81.3	26	523.2	650	63.6	42	718.9	727	70.9
えだまめ	8	124.6	1,208	101.2	5	111.5	1,563	111.8	9	230.2	1,161	69.9	21	148.2	1,267	92.2
やまといも	31	81.1	602	116.5	37	91.5	592	114.3	39	79.7	602	113.6	107	83.8	599	114.6
根しょうが	49	87.3	528	88.2	55	106.4	536	86.6	52	96.6	535	87.2	156	96.5	533	87.4

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	7,422	96.6	287	104.2	9,101	105.2	285	101.1	8,887	93.3	299	101.2	25,409	98.3	291	101.9
(極早生みかん)	53	172.4	199	94.3	11	242.3	236	120.8	2	223.4	242	83.2	66	182.8	207	97.9
(早生みかん)	7,337	97.0	288	104.3	7,982	104.7	282	100.2	3,643	91.5	267	95.8	18,961	98.9	281	100.9
(普通みかん)	32	37.3	220	98.0	1,108	108.3	305	107.5	5,242	94.6	322	104.4	6,382	95.9	318	105.0
かんきつ類	409	84.1	565	110.3	844	103.8	643	117.0	899	80.8	575	104.7	2,152	89.2	600	110.7
りんご類	2,390	123.7	319	82.3	2,780	152.6	318	78.0	2,210	142.7	340	78.6	7,380	139.2	325	79.7
(ふじ)	1,831	119.2	310	79.4	2,249	157.5	295	73.7	1,785	152.1	308	74.5	5,866	141.7	303	75.8
いちご類	416	92.5	2,028	107.4	674	106.9	1,945	103.0	886	111.9	2,250	99.1	1,977	105.6	2,099	102.4
(とちおとめ)	189	65.8	1,901	106.5	258	66.6	1,832	104.6	333	84.1	2,219	102.3	781	72.8	2,014	105.2
(あまおう)	43	118.5	2,562	98.0	105	209.0	2,251	90.6	140	143.0	2,365	93.9	289	156.1	2,353	93.1
メロン類	144	88.0	917	108.5	153	82.3	1,183	128.2	165	82.3	1,202	119.4	462	84.0	1,107	119.0
(アールスメロン)	119	89.8	981	108.2	120	85.4	1,320	129.7	123	82.9	1,359	119.5	363	85.9	1,222	119.2
すいか類	39	94.0	221	86.1	38	68.2	216	82.3	29	53.5	276	99.5	106	69.9	235	88.0
(すいか大玉)	38	101.1	220	88.7	38	74.5	216	84.6	29	54.8	276	100.7	105	74.2	234	89.9
ぶどう類	132	102.9	1,754	89.4	138	119.5	1,960	93.0	138	109.6	2,142	95.5	408	110.4	1,954	92.9
(シャインマスカット)	89	116.9	2,130	81.2	101	132.9	2,372	85.9	110	120.2	2,498	89.2	300	123.1	2,346	85.8
日本なし類	120	320.8	354	70.0	87	262.4	425	77.7	53	345.6	383	72.7	260	302.7	384	73.1
くり	9	286.7	832	71.8	4	331.4	926	94.2	1.1	107.7	880	57.4	14	263.2	862	72.5
かき類	2,240	167.3	233	66.2	1,856	204.1	225	65.2	684	152.1	286	64.9	4,780	177.2	237	65.2

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,448	108.3	62	145.0	2,624	127.0	50	115.4	1,652	85.9	57	112.6	6,724	107.6	56	123.6
にんじん	2,070	103.5	108	114.5	2,471	108.7	104	121.6	2,250	102.0	110	117.2	6,791	104.8	107	117.7
キャベツ類	2,208	121.1	73	121.3	1,989	132.7	57	98.3	933	68.8	67	125.2	5,130	109.6	65	114.2
ほうれんそう	38	100.6	254	92.9	39	105.8	265	74.2	35	90.9	362	111.3	112	99.0	292	91.6
ねぎ	291	154.2	277	113.3	443	156.8	284	109.7	465	139.0	288	114.3	1,199	148.8	284	112.4
レタス類	43	101.1	204	105.1	52	77.9	196	102.0	82	71.9	242	114.2	177	79.2	219	108.2
きゅうり	139	80.6	294	100.5	160	66.2	343	111.6	188	90.3	455	138.5	487	78.3	372	120.0
トマト	210	117.3	340	70.0	184	156.2	342	79.4	82	89.2	353	92.3	476	122.5	343	77.1
さといも	9	66.7	224	98.6	18	58.4	216	77.9	25	108.2	253	96.4	53	77.1	235	89.7
かんしょ	576	93.8	253	100.8	712	117.2	241	99.6	627	112.4	237	95.8	1,915	107.6	243	98.6
かぶ	345	89.6	119	115.5	430	115.5	112	104.2	363	83.2	114	108.7	1,138	95.4	115	109.2
こまつ菜	13	106.1	236	106.4	19	128.6	231	88.5	33	221.1	237	95.1	64	154.9	235	95.8
しゅんぎく	30	91.0	482	106.0	37	118.6	469	87.4	31	88.5	638	106.8	99	98.9	526	99.2
サラダな	11	112.1	324	91.4	9	102.9	424	104.9	8	85.0	588	118.9	28	100.5	428	103.1
パセリ	10	99.7	918	63.7	12	140.3	827	63.2	13	141.3	967	52.7	35	125.8	905	59.2
ミニトマト	102	92.3	500	94.4	112	143.2	491	91.8	66	115.7	531	86.4	280	114.0	504	91.4
なのはな	25	119.9	721	84.7	39	139.5	625	76.2	37	89.4	692	97.4	101	112.0	673	86.6

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	2	88.3	720	137.0	2	99.4	927	146.1	2	75.1	1,016	107.8	5	86.8	892	124.2
(アールスメロン)	2	89.3	744	143.8	2	107.4	927	145.3	2	78.3	1,016	107.3	5	90.6	901	125.1
(とちおとめ)	0.04	5.7	2,071	123.7	1	41.2	1,797	106.9	5	90.0	2,310	108.8	7	68.3	2,207	113.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 1月の見通し

野菜

「ねぎ」は引き続き順調な出回り、「キャベツ類」「だいこん」「はくさい」等の重量野菜も安定的な入荷が見込まれる。

12月の気温低下により生育停滞している「レタス類」「ほうれんそう」は中旬頃まで少ない入荷量が見込まれる。

野菜全体では、入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。

果実

「みかん類」「りんご類」「いちご類」「かんきつ類」を中心に出回る。

「みかん類」は静岡産中心の入荷となる。天候よく生育順調でL中心となる。「りんご類」は降雨の影響により、大玉傾向だが、糖度・硬度の基準から上位等級は少ない見込み。「いちご類」は天候不順がなければ、1月中旬までは順調な出荷予定。

「かんきつ類」は、多くの品種が始まる時期となるが、着果量が少ないものがあり前年より若干減となる見込み。

果実全体では、入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産県は千葉、神奈川県産。寒さや乾燥などの影響はあるが、生育には問題なく平年並の出荷量が見込まれる。
にんじん	⇒	⇒	↗↗	↘↘	主産県は千葉、埼玉県産。生育順調で肥大は良好で、平年をやや上回る出荷量が見込まれる。
キャベツ類	⇒	↗↗	↘↘	↓↓↓	主産県は愛知、千葉、神奈川県産。低温や干ばつによる生育停滞はあるが、出荷量は平年をやや上回ると見込まれる。
ねぎ	⇒	⇒	↗	↘↘	主産県は千葉、埼玉、茨城県産。生育順調で太物傾向であり、出荷量は平年をやや上回ると見込まれる。
きゅうり	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産県は高知、宮崎県産。燃油高の影響もあり、気温の低下に伴い、生育は鈍化している。出荷量は平年をやや下回ると見込まれる。
トマト	↗	⇒	↘	↘	主産県は熊本県産。前年のような病害多発はないことから、出荷量は平年並が見込まれる。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↗↗, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

レタス類

主要産地のレタス類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2021年度1月入荷量	2021年度1月シェア率
千葉	353 t	5.9 %
茨城	250 t	4.2 %
静岡	1,995 t	33.6 %
兵庫	487 t	8.2 %

今後の競合産地の動向は?

令和3年の東京都中央卸売市場の年間入荷量は、1位長野県(39%)、2位茨城県(25%)、3位静岡県(10%)、千葉県は8位(2%)となっています。

1位の長野県は群馬県とともに5~9月にかけての夏秋レタスの産地、2位の茨城県、3位の静岡県や千葉県は10~5月にかけての冬春レタスの産地です。

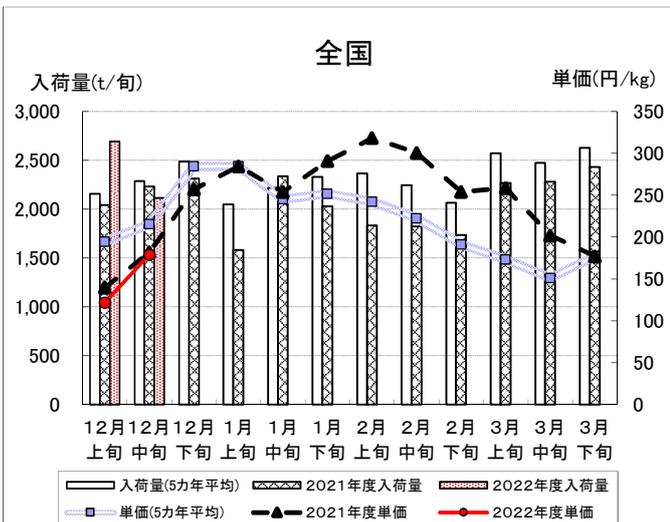
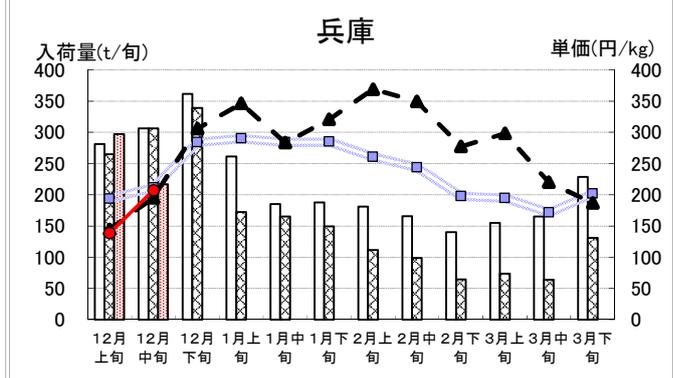
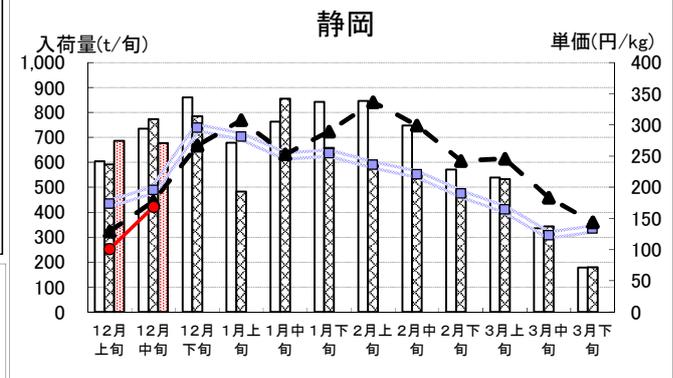
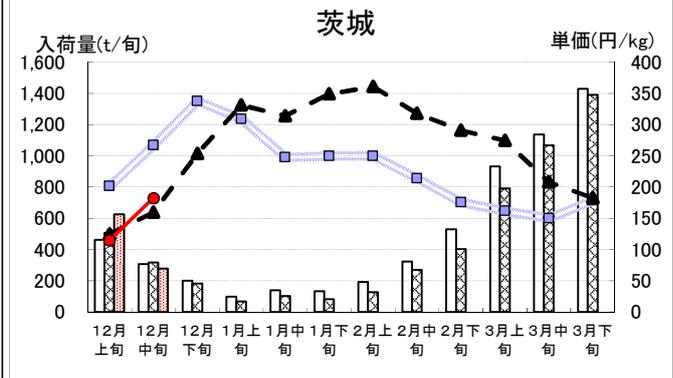
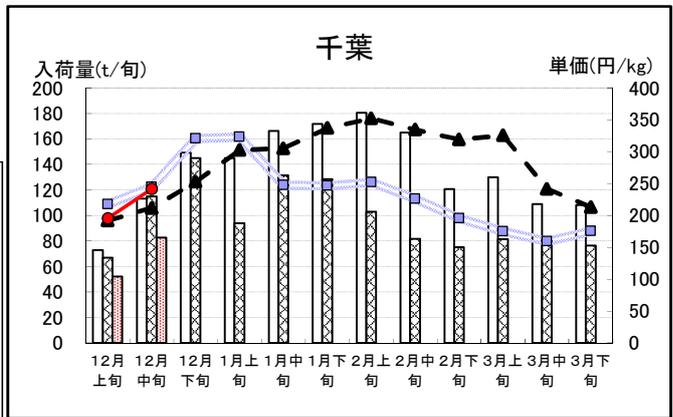
過去10年間の国内の生産量は増加傾向にあり、特に、長崎県、茨城県、長野県、群馬県では増加しています。

レタスの1人当たりの年間購入数量は近年、2,000グラム前後で推移していて、販売価格に関係なく増加する傾向があります。背景には、加熱調理の普及や家庭内でサラダの食材としての利用が増えていることがあります。

結球レタスは、内食、中食、外食いずれにも使われることから、年間通して需要がありますが、近年、冬場(12~3月)に国産が不作となることが多く、業務用として台湾からの輸入が常態化しています。

レタスの生産量は増加傾向でしたが、近年の資材費高騰の影響を受け、西南暖地では作付を減らしている産地が見られることから、入荷量は平年をやや下回り、年明けの需要の減少により、価格もやや下回る見込みです。

1月入荷予測	5,900t(前年比98.6%、平年比93.7%)		
1月価格予測	250円(前年比91.2%、平年比91.9%)		
1月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 保合 ⇒



Ⅱ 花き(切花)情報

12月(中旬)までの経過

入荷量は11月下旬に前年を大幅に上回ったが、12月に入り前年を大幅に下回った。相場は、12月上旬にかけてそれまでの高値疲れから値を下げ、12月中旬に入ると、年末の需要期となったものの前年並だった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	11月下旬は前年を大幅に上回ったが、12月上旬は前年を大幅に下回り、12月中旬は前年をやや下回った。
相場	11月下旬は前年並で、12月上旬は前年をかなり下回った。12月中旬は前年並だった。
動向	11月中の気温が高く推移したことにより、11月下旬は入荷増となった。12月に入ると全国的に冷え込み、生育の鈍化から入荷量が伸び悩んだ。価格は高値疲れから値を下げたものの、12月中旬の需要期に入り持ち直した。

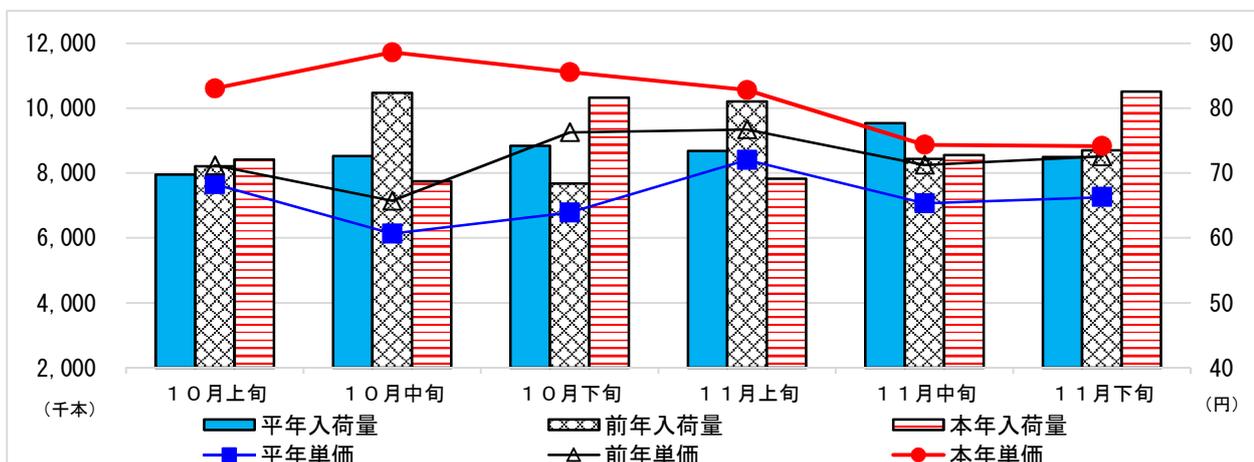
品目別経過

品目	経過
バラ	(株)世田谷花き 赤、白中心に強い。秋口の天候不順により、入荷は少なめとなった。
ストック	(株)フラワーオークションジャパン 山形中心に千葉、福島より入荷があり、前年比1割増。相場は11月の高値から落ち着き保合となった。
スイセン	(株)大田花き 11月の高温からやや前進傾向となり、12月上旬は厳しい販売が続いた。3週目から年末向け納品が開始となり、中値での取引となった。

1月の見通し

品目	見通し
ストック	(株)大田花き 各産地、気温が下がったことで開花が鈍くなり、出回り数量が少ない状況が続く見込み。引き合いも弱い状況が続く見込み。
カラー	(株)大田花き 湿地性は千葉、愛知共に増加していく。畑地性は千葉中心で、黄色・ピンク等の定番色中心の予定。輸入はコロナ禍で出荷が不安定になっており、入荷はほぼない見通し。

11月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R4. 11月				累計 (R4. 1～R4. 11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	16,406	0.84	169	1.01	171,009	0.82	208	1.11
だいこん	2,142	0.70	68	1.36	18,651	0.71	98	1.53
にんじん	965	0.92	112	1.12	9,542	0.90	128	0.93
はくさい	1,759	0.93	62	1.31	10,608	0.80	70	1.26
キャベツ	2,241	0.76	74	1.19	31,806	0.85	86	1.24
ねぎ	795	0.87	238	1.12	8,238	1.05	289	0.83
トマト	425	0.73	498	1.01	6,270	0.72	370	1.10
きゅうり	513	0.83	300	1.07	7,957	0.86	282	1.00
ばれいしょ	826	0.89	105	0.54	9,998	0.93	199	0.81
たまねぎ	1,759	1.03	94	0.55	14,529	0.64	196	2.14
レタス	498	0.71	199	1.40	7,790	0.81	178	1.12
果実	4,589	0.90	326	0.96	41,001	0.84	448	1.13
みかん	1,767	0.81	248	1.02	4,982	0.83	275	1.09
かき類	999	1.30	230	0.66	1,285	1.10	268	0.74
グレープフルーツ	25	0.51	321	1.70	477	0.69	267	1.22
なし類	79	1.77	358	0.74	2,835	0.95	413	0.93
ぶどう類	95	1.09	1,673	1.08	1,154	0.89	1,116	1.04
いちご類	78	0.74	1,964	1.05	4,135	0.98	1,192	1.09
すいか類	5	3.11	251	0.65	3,687	0.93	283	1.09
メロン類	22	0.54	616	1.04	1,661	0.83	543	1.09
バナナ	348	0.63	174	1.31	4,233	0.79	170	1.16
りんご	716	0.96	307	0.83	4,650	0.78	361	1.27
その他	155	0.82	194	1.00	2,175	0.98	200	0.67
青果物合計	21,151	0.85	203	1.00	214,186	0.83	254	1.12

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R4. 11月				累計 (R4. 1～R4. 11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	773	0.92	68	0.98	11,191	0.91	70	1.14
きく	246	1.04	56	0.87	2,941	0.82	63	1.08
バラ	31	0.88	107	0.97	376	0.97	100	1.07
カーネーション	154	0.95	51	1.06	2,302	0.96	54	1.11
枝物	37	0.92	92	1.06	241	0.90	108	1.08
鉢物	155	0.88	141	1.05	1,053	1.00	152	1.02
その他	2	1.00	96	0.88	8	-	105	-
花き合計	967	0.92	81	1.00	12,493	0.92	78	1.13

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV やっらゃば閑話

「切花出荷箱の標準化」

青果物の出荷箱は何度か取り上げていますが、今回は切花の出荷箱についてです。切花の出荷箱は、品目にもよりますが、縦型と横型があり、大きさもまちまちです。さらに輸送形態で乾式と湿式（中に水分保持剤、もしくは少量の水とバケツを同梱）に分かれます。水あげの難しい品目は主に湿式で輸送されます。

産地・出荷者、品目ごとに千差万別な出荷箱になっている切花を輸送する上での問題点は、トラックに積み込む際の積載効率がとても悪いということです。また、積み際も荷下ろしする際も手作業となり、時間も人件費もかかる点です。

トラックに積み込むにあたり、隙間なく満載できれば最も輸送効率は上がり、1箱あたりの運賃が下がります。画一的な箱になれば、パレット輸送も可能になりますが、箱の形によっては重ねられない、重ねられても無駄な空間ができる等、運賃コストが嵩む原因になっています。

これを解消するため、（一社）日本花き卸売市場協会において、平成 28 年に切花出荷容器の標準化に向けた検討、検証が行われ、図のような4種類のサイズが提案されました。これは JIS 規格である 11 型パレット（110cm×110cm）に積みやすいように設計され、複数の箱が組み合わせられても容易に積み合わせることが出来ます。

2024 年問題により燃料費、人件費等、輸送コストの更なる増大が叫ばれる昨今、切花 1 本あたりのコストを抑えるためにも、物流全体の手間と時間、そして CO₂ の排出をカットするためにも、出荷箱の見直しはいかがでしょうか。

（チーバくんの鼻の先）



V 首都圏揭示板



北海道産のさつまいもの出荷がありました。

ばれいしょの主産地である北海道で、近年、さつまいもの生産への取組が進んでいます。地球温暖化により、生育期間中の温度が確保できる見込みとなったこと、ここ数年来の「焼き芋ブーム」により需要が高まっていること等が追い風となり、取り組む生産者が増えています。

本県や茨城県産のさつまいもは貯蔵施設を活用し、周年供給されていますが、北海道では今のところ、貯蔵施設がないことから、出荷はおおむね10～11月の2カ月程度です。なお、今作の品質は良好であり、評価できるものであったとのことです。

今はまだ、北海道がさつまいもの主産県になっていないことから、農林水産統計に作付面積、10aあたり収量、収穫量等の調査結果が掲載されておらず、動向を追うことは難しい状況ですが、多くの耕地面積を持つ農業大国・北海道の動きは、注視していく必要があります。



出荷箱は茶箱1色刷、6JA統一で、シンプルなデザインの箱です。

〔 JA ようてい、 JA 伊達市、
JA 新しのつ、 JA 東旭川
JA 当麻、 JA 帯広大正 〕

品種はシルクスイート。



パッキングされたさつまいも



ご提供いただいている青果物及び花き産地情報について

首都圏マーケティングセンターでは、青果物及び花きの産地情報の提供を、全農業事務所をお願いしています。いただいた情報は、他県や全農、卸売会社との情報交換会議の基礎資料として活用するほか、農林水産省や花きの仲卸・小売店等の流通業界に情報提供しています。

新型コロナウイルス感染拡大の予防を徹底しながら、全国的に人の移動や集会等の開催が増えてきています。それに伴い、青果等の物流も活発になっており、生育情報や産地の様子、取組等の積極的な情報発信がますます重要になっています。引き続き、毎月の情報提供をお願いいたします。

～メールマガジン配信のご案内～

ホームページ情報の更新内容などをお伝えする電子メール（メールマガジン）を配信しています。ご希望の方は下記メールにてお申し込みください。

宛先 : nousin007@mz.pref.chiba.lg.jp

※タイトル欄に「メールマガジン希望」、本文に所属（勤務先）と担当者名を記入してください。